

# 管理サーバの障害解析用のログ一覧

## 対応バージョン

SSC2.0 / SSC2.1

## 概要

SigmaSystemCeter の障害解析時のログ一覧を記載します。

## SSC コンポーネント毎の管理サーバ側ログの種類

	PVM	DPM:Win	DPM:UX	ESM/SM	SMN 性能	SBC
1.運用・詳細ログ	*1	*2	*5	*6	*7	*9
2.アプリケーションログ		*0		*0	*0	
3.システムログ		*0		*0	*0	
4.レジストリ		*3				
5.その他の情報		*4			*8	

PVM ..... SystemProvisioning

DPM:Win .... DeploymentManager(Windows/Linux)

DPM:UX ... DeploymentManager(HP-UX)

ESM/SM .... ESMPRO/ServerManager

SMN 性能 ... Sysmon 性能監視

SBC ... SIGMABLADE controller

... 必要情報あり

... なし

## 【共通】

障害調査依頼の際には、ログの他に分かる範囲で以下の情報の提供をお願いします。

- ・ 障害の概要 (障害の具体的な内容 どのような現象が発生したか等の情報)
- ・ 障害の発生日時
- ・ 障害の発生手順 (障害発生時に、どのような操作・運用を行ったかの情報)
- ・ 画面上に表示されているエラーメッセージ
- ・ ネットワーク構成図

\*0

Windows のイベントログの、アプリケーションログ,システムログ

以下のモジュールは障害時に、Windows のイベントログの、アプリケーションログ,システムログが必要です。

- ・ DeploymentManager(Windows/Linux)
- ・ ESMPRO/ServerManager
- ・ SystemMonitor 性能監視

採取方法は、[備考]を参照してください。

DPM の DpmLog もしくは ESMPRO の collectm を採取時は不要です。

## 【SystemProvisinoning】

\*1

運用・詳細ログ

<SystemProvisioning をインストールしたフォルダ>%log フォルダの情報を採取

(例: C:%Program Files%NEC%PVM%log)

GUI の操作ログ

<SystemProvisioning をインストールしたフォルダ>%Provisioning%Logs フォルダの情報を採取

(例: C:%Program Files%NEC%PVM%Provisioning%Logs)

## 【DeploymentManager(Windows/Linux)】

\*0 \*2 \*3 \*4

ログの採取ツールで一括採取してください。

また、管理対象側の調査には、管理対象側のログも必要です。

### 【管理サーバ】

- 1) インストール CD-ROM 内の以下のフォルダを、任意の場所にコピーします。  
<インストール CD-ROM>¥DPM¥TOOLS¥DpmLog
- 2) 「スタート」メニュー 「ファイル名を指定して実行」を選択し、名前に「cmd」と入力して「OK」をクリックします。  
コマンドプロンプトが起動しますので、1)でコピーしたフォルダに移動します。
- 3) オプション「-A」を付けて、DpmLog.exe を実行します。画面表示を参照のうえ、収集したログを送付してください。  
<コピーしたフォルダ>¥ DpmLog.exe -A[Enter]

### 【管理対象】

管理対象の OS によって採取方法が異なります。

- ・ **Windows IA32/EM64T**

管理サーバと同じ方法でログの採取をお願いします。

- ・ **Windows IPF**

DpmLog.exe は、IPF は未サポートとなります。お手数ですが手動にて以下の情報を採取頂き、送付してください。

-Windows イベントログ (イベントログ形式(.evt)で採取してください)

アプリケーションログ

システムログ

-ファイル (存在しない場合は採取の必要はありません)

%SystemRoot%\¥Inst\_Dpm\_Client.log

%SystemRoot%\¥system32

%SystemRoot%\¥system32¥DepAgent.log

%SystemRoot%\¥system32¥DepAgent.log.bak

%SystemRoot%\¥system32¥rupdsvc.log

%SystemRoot%\¥system32¥rupdsvc.log.bak

%SystemRoot%\¥system32¥DPMTray.log

%SystemRoot%\¥DeploymentManager

%SystemDrive%\¥Sysprep

(%SystemRoot%, %SystemDrive%は環境変数です)

-レジストリ (レジストリエディタよりエクスポートして採取してください。存在しない場合は採取の必要はありません)

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft 配下

Updates

Windows NT¥CurrentVersion¥Hotfix

Windows¥CurrentVersion¥Uninstall

Windows¥CurrentVersion¥Component Based Servicing¥Packages (Windows Server 2008 のみ)

HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet 配下

Updates

Services

Control

-以下のコマンドの実行結果

ipconfig /all

route -p print

net use

net share

net config WORKSTATION

net config server

netstat -a -o -n

-システム情報

「スタート」メニュー 「ファイル名を指定して実行」を選択し、名前に「cmd」と入力して「OK」をクリックします。  
コマンドプロンプトが起動しますので、以下のコマンドを実行し、作成された msdrpt.txt を採取してください。

- ・ Windows Server 2003 の場合

%CommonProgramFiles%¥Microsoft Shared¥MSInfo¥msinfo32.exe /report msdrpt.txt

(%CommonProgramFiles% は環境変数です)

- ・ Windows Server 2008 の場合

%windir%¥system32¥msinfo32.exe /report msdrpt.txt

(%windir% は環境変数です)

## Linux

以下のファイルを採取してください。ファイルを採取する際には、タイムスタンプが変更されないようにログを採取し(cp コマンドの-p オプション等)、zip や gzip 等のコマンドを用いて Linux 上で圧縮し、送付してください。

### -システム設定ファイル

```
/etc/hosts  
/etc/resolv.conf  
/etc/sysconfig/network  
/etc/sysconfig/clock  
/etc/sysconfig/iptables  
/etc/sysconfig/ipchains  
/etc/rc.d/rc  
/etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-*ファイル
```

### -クライアントサービス for DPM の関連ファイル

```
/opt/dpmclient/フォルダ配下の全ファイル
```

### -ネットワーク情報

以下のコマンドの実行結果を採取してください。

```
ifconfig -a  
netstat -a | grep 560  
route  
ps -axm | grep depagtd  
iptables -L
```

## 【DeploymentManager(HP-UX)】

### \*5 運用・詳細ログ

DPM(HP-UX)Lib のログを出力します。

(例: C:\Program Files\NEC\PVM\log)

## 【ESMPRO/ServerManager】

collectm により一括採取をお願いします。

#採取情報の中にはレジストリ情報等も含まれます。

(collectm 採取方法)

<ESMPRO/ServerManager のインストールフォルダ>%ESMSM%collectm%collectm.exe を実行

(例: C:%Program Files%ESMPRO%ESMSM%collectm%collectm.exe)

<ESMPRO/ServerManager のインストールフォルダ>%ESMSM%collectm%smlog フォルダの情報を採取

(例: C:%Program Files%ESMPRO%ESMSM%collectm%smlog)

\*6

運用・詳細ログ ... collectm により採取する場合は不要です。

<ESMPRO/ServerManager のインストールフォルダ>%AlertMan%Work フォルダの情報を採取

(例: C:%ProgramFiles%ESMPRO%AlertMan%Work)

<ESMPRO/ServerManager のインストールフォルダ>%NWORK%AMWORK%SCK フォルダの情報を採取

(例: C:%ProgramFiles%ESMPRO%NWORK%AMWORK%SCK)

## 【SystemMonitor 性能監視】

\*7

運用・詳細ログ

<SystemMonitor 性能監視のインストールフォルダ>%log フォルダの(.log ファイル)情報を採取

(例: C:%Program Files%NEC%SystemMonitorPerformance%log)

\*8

その他の情報

Windows イベントログの SystemMonitor 性能監視ログ が必要です。

- 1) 管理サーバの スタートメニュー より [コントロールパネル] を選択します。
- 2) コントロールパネル内の [管理ツール]から [イベント ビューア] を起動します。
- 3) 起動したイベント ビューアの左ペインのツリーから[SystemMonitor 性能監視] を選択し、右クリックします。
- 4) 表示されるポップアップメニューから [ログファイルの名前を付けて保存] を選択します。
- 5) 任意の名前のファイルを指定し、保存します。
- 6) 保存いただいたファイルを送付願います。

## 【SIGMABLADE controller】

\*9

### 運用・詳細ログ

SIGMABLADE controller のコンポーネント( )をインストールしたマシンのログを採取してください。

格納場所はマシンで稼動する OS の種類によって異なります。

各ログファイルは、最大2MB程度の容量を必要とします。(コンソール(Console)のログは、コンソールを利用するWindows ユーザ数分のログを出力するため、2MB 以上のログを出力することもあります。)

・Windows XP/Windows Server 2003

<CommonAppData>%NEC%SBC%Log

(例: C:%Documents and Settings%All Users%Application Data%NEC%SBC%Log)

・Windows Vista/Windows Server 2008

<CommonAppData>%NEC%SBC%Log

(例: C:%ProgramData%NEC%SBC%Log)

( )コンソール(Console)

サーバロケータ(ServerLocator)

サーバ(Server)

コマンド(Command)

## 【備考】

### ・ Windows イベントログ採取方法

管理サーバの スタートメニュー より [コントロールパネル] を選択します。

コントロールパネル内の [管理ツール]から [イベント ビューア] を起動します。

起動したイベント ビューアの左ペインのツリーから保存するログ(アプリケーション,イベント,など)を選択し、右クリックします。

表示されるポップアップメニューから [ログファイルの名前を付けて保存] を選択します。

任意の名前のファイルを指定し、保存します。

保存いただいたファイルを送付願います。

作成日:2008/06/30

作成日:2009/03/13